

七条第三児童館	目標	○身近にある児童館として気軽に立ち寄り、子育て相談や仲間づくりができるよう支援します。 ○子ども自身が企画し考える力を伸ばせるような取組をすすめます。 ○情報収集をしっかりとニーズに合わせた思春期児童の居場所を確立します。	○基本的生活習慣や社会性を身につけられるように段階をふまえ指導します ○子ども達が主体となれるような取組をふやし生活場面に応じた行動力をはぐくみます。 ○縦割りを意識し、3年生以上のリーダーシップを育てます。
	成果	○乳幼児クラブ、あそびの広場ともに多くの参加者があり、仲間づくりの一端を担うことができました。また、近隣の公園へ出向き「出前児童館」を何度か実施したことで、児童館の周知やその後の利用につながりました。また、乳幼児フェスやイベント等、多角的な取組を増やした結果、児童館の専門性など活動内容を知っていたことができしました。 ○児童の発達や心のケア等について専門性をもった外部の方からアドバイスをいただきながら職員のスキルを高めるように努めることで、日常の利用者へのサポートにつながりました。 ○来館児童の思いや意見を受ける活動を意識的に作り、行事や日常の取組で企画が実現できるような体験の機会を多くつくりました。活動しやすい環境をつくることで体験の幅が広がり、自主性・主体性の育成につながりました。 ○中高生には継続的に関わり、話し相手となるよう関係を築きました。日常的な居場所づくりに加え、児童の「やりたいこと」を実現させたりイベントを増やしたりすることで継続的な利用につながり、多世代交流等へ活動展開することができました。	○学年ごとに昼食やおやつの時間を区切ることでその年齢に応じたルールやマナーを体験的に学習しました。特に1年生はランドセルのしまい方や荷物の整理、学習など4月のうちに丁寧に説明する等、積み重ねを経て基本的生活習慣を身につけることができました。また、遊びを通して社会性の育成に努めました。 ○子どもたちの意欲や意見の尊重を意識した取組が実現できるよう支援しました。特に、児童館のルールについて、子どもたちが意見を出し合う「子ども会議」を設け、熟考し決定から周知までをすべて担った活動は子どもたちの主体性・社会性を養成する体験となりました。また、あそびの大会や季節行事等、職員が計画するのではなく子どもたちが予定と内容を組み立て、子どもたちの発信で活動できる場面を意識的に増やしたことで主体性が育まれました。 ○各学年会議を中心に、それぞれの目標をたて、その後学童クラブ全体の目標につなげていきました。特に3年生以上には活動の企画・運営を任せ、中心となって実施する体験を重ねることで、他者との関わり方を学び、仲間意識や責任感、自主性が育まれました。